

学校教育目標：ふるさと錦を愛し、夢をもち、礼節を重んじる自主した生徒の育成

錦タイムズ #21 錦町立錦中学校 令和8年3月10日 【校長】片山 源次

特集 第64回 卒業証書授与式

3月8日（日）、本校体育館において、第64回卒業証書授与式を挙行了しました。

本年度は115名の卒業生が、本校を巣立ち、それぞれの新たな進路へと歩みを進めました。

厳かな雰囲気の中で行われた式では、一人一人の名前が呼ばれ、片山校長から卒業証書が手渡されました。卒業生の堂々とした姿からは、3年間の成長と自信が感じられました。



式辞の中で片山校長は、卒業生に対して「中学校3年間、そして義務教育9年間の中で、卒業生たちは授業や部活動、学校行事など様々な場面で努力を重ね、錦中学校の伝統を受け継ぎながら新たな歴史を築いてきました。その一つ一つの経験や学びは、これからの人生を歩んでいくうえで大きな財産となります。これからの社会は予測が難しく、思い通りにいかないこともあるかもしれませんが、しかし、結果だけでなく、挑戦する過程そのものが自分自身を成長させ、将来の力となります。」と語り、挑戦し続けることの大切さを伝えました。

さらに、錦中学校の校歌に触れながら、「仲間と力を合わせ、胸を張り、それぞれの理想を高く掲げて歩いてほしい」と卒業生の未来への期待を述べ、社会を担う一員としての活躍を願う言葉で式辞を締めくくりました。



その後、在校生の送辞・卒業生からの答辞と歌声で、感動的な式となりました。

卒業生の皆さんのこれからの更なる飛躍と活躍を職員一同心より願っています。

「The Nishiki Times」では、生徒の活躍を中心に、錦中生の活動を紹介しています。ホームページでもご覧になれます。

錦中HP →

